

こくりにゆう だより



大阪府立桜塚高等学校 2年 進藤 凧紗
「今年は残念ながら海で遊ぶことはできませんが、来年はみんなで遊びたいです」



今後のイベント情報

※場所の記載がないものはとよなか国際交流センターで開催します。



サンプライス インテンシヴ

8月17日(火)・19日(木) 10:00~12:00

8月22日(日) 13:00~15:00

大学生ボランティアと一緒に夏休みの宿題に取り組む。

定員: 6人(申込先着順)

参加費: 無料

対象: 外国にルーツをもつ小学生~中学生

申込: 8月15日(日)までに電話・メールにて受付

世界の「ミカタ」

~親子で楽しむ国際交流~

8月21日(土) 10:30~12:00

エクアドル出身の講師とワークショップ等を通して交流する。

定員: 30人(申込先着順)

参加費: 無料

対象: 小学3年生~6年生の子どもとその保護者
(子どものみ参加も可)

申込: 8月17日(火)までに電話・メールにて受付

2021年度「多文化子育て支援ボランティア養成講座」を開催しました

本講座は、外国人ママの居場所づくり「おやこでにほんご」と、外国にルーツをもつ乳幼児のための活動「多文化子ども保育にここ」のボランティアに新たに参加を希望する人を対象に、5月27日（木）から、3回の連続講座として開催しました。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響もあり開催できませんでしたが、今年度は、すべての講座をWeb会議ツールzoomを使い、緊急事態宣言下においても、安全に講座を実施することができました。

第1回目は、山田拓路さん（NPO法人メタノイア代表理事、講座タイトル：「多文化保育の実践と外国ルーツの子どもにまつわる課題について」）から、岐阜県可児市において実施していた外国ルーツの乳幼児を対象にした保育活動について、日々の保育の実践からみえてきた子どもや保護者の現状と課題、そのために保育の中で実践していることなどを丁寧にお話いただきました。

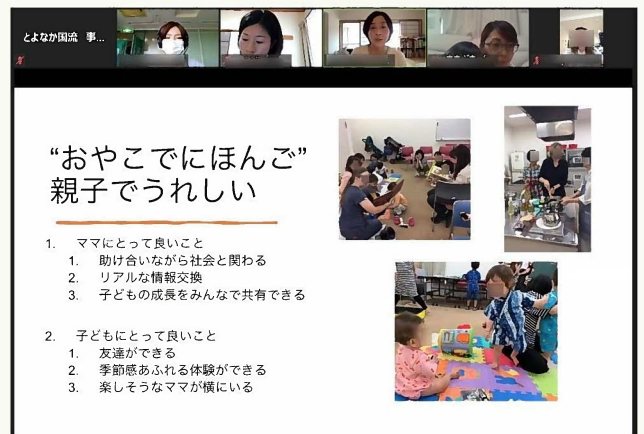
第2回目は、神原文子さん(社会学者、講座タイトル：「子どもの育ちと子育て支援—『子育て』と『教育』から『子育て』と『共育』へ—」)からは、子どもの権利条約を参照しながら、子どもと対等な目線にたち、地域で子どもを中心にした支え合いの仕組みをつくることを提案されたのですが、参加者は大きく共感していました。

第3回目は、当協会が実施しているその他の事業（多言語による相談サービス・日本語交流活動など）の概要説明や、現役ボランティアからの活動紹介をおこないました。現役ボランティアとの交流では、どのグループも盛り上がり、時間が足りないくらいでした。

講座を経て、16人の新規ボランティアの方が活動に参加される予定です。

皆さんのご活躍を楽しみにしています。

(協会職員・山本房代)



現役ボランティアからの活動紹介のようす(第3回講座)

「くらしを守る総合相談会」を開催しました

6月5日（土）、豊中しごとセンター（庄内東町）にて「くらしを守る総合相談会」を豊中市との共催で実施しました。17件の相談があり、そのうち7件が外国人からの相談でした。

外国人からの相談には、外国人の多言語スタッフ、当協会の専門相談員が主として対応し、適宜、市の担当部局からも情報提供を受けながら進めました。コロナ関連の相談（ワクチン接種、求職）や、住宅についての相談などがありました。また、豊中市社会福祉協議会による食糧支援もありました。当センターは、市内の比較的北部にあることから、南部地域での相談会は貴重な機会でした。

今後も、行政や地域の団体、コミュニティなどと連携し、地域に出ていながら、外国人市民のニーズに応えることを目指します。

(協会職員・山本房代)

むりょう 無料

まも そうごうそうだんかい
くらしを守る総合相談会

お金や食べ物がなく生活に困っている、仕事が見つからない、住宅ローンや家賃が払えない、不安で寝も眠ることができないなど、どのようなことでもご相談ください。

ご相談いただける内容

- 経済的に困っているなどの生活相談
- 部費を滞りためのお金の相談（住居確保給付金）
- 借りたお金の相談（ファイナンシャルプランナーが対応）
- 仕事探し ● 必要なお金を借りることができるのかの相談（貸付金）
- 生活保護（事前相談・制度説明）
- こころの健康相談 ● 住む家を変える相談（住み替え相談）
- 外国人相談（英語、中国語、韓国語、ベトナム語、フィリピン語、ベトナム語は通訳あり。その他の言語は音声翻訳機による対応）

※食べ物に困っている方には、相談終了後に食へ物をお渡しします。

<日時>
令和3年6月5日(土) 午後1時～午後4時

<会場>
豊中しごとセンター
豊中市役所前 内蔵前庁舎2階(庄内東町2-1-4)

<日時>
令和3年6月5日(土) 午後1時～午後4時

<会場>
豊中しごとセンター
豊中市役所前 内蔵前庁舎2階(庄内東町2-1-4)

とよなか 豊中市 豊中市との共催

お問い合わせ 豊中市社会福祉協議会 06-6859-2219

協力 豊中市社会福祉協議会、豊中市居住支援協議会

「ちょっとだけでも、社会に余白が欲しいなあ、という気分」

協会事業（哲学カフェ、プロジェクト“さんかふえ”等）に参加していた辻明典さんが、2013年度より故郷である福島県南相馬市に戻り、教員をしています。辻さんからの福島からの便りをどうぞ。

最近、想像していた以上の忙しさに襲われてしまいました。そして忙しすぎると、例え自覚症状がなくても、体調を崩してしまうこともあるのだな・・・と身をもって知ることができました。みなさまもどうかお気をつけください。体調が第一です。

さて、正直に申し上げると、何を書こうかな・・・とかなり迷走しておりました。睡眠時間が削られるほどの忙しさに巻き込まれると、自分が感じている以上に、思考が働かなくなってしまうのだな、と思い知らされております。「自分自身と対話をする」時間、つまりは、自分に問いかけ、じっくりと考えるような時間が、あまりにも少なくなってしまったなど、驚くばかりです。

また、豊中でも同じだと思いますが、新型コロナウイルスの広がり、社会の〈余白〉をせばめてしまったのではないかと気になっています。社会の〈余白〉というと、我ながら難しいことを言っているようでとても恥ずかしいのですが・・・

「まあまあ、なんとかなるよ」「まあ、気にしないでおこうよ」「そのうち、なんとかなるでしょう」

といったような、おおらかな気分のようなものです。感染が広がっている状況で、「まあ、なんとかなるよ」なんて簡単には言えないのは事実です。でも、誰もが心の余裕が無くし、急かされているというか、ゆっくりと待てなくなっているというか、そう思わざるを得ないような気分が広がっているような気がします。そういった気分は、時代の波とともに押し寄せてきて、私自身もそこからは簡単には逃れられないし、余裕は簡単には取り戻せるようなものではなさそうです。この社会は、急速に窮屈になっているのだろうか…と心配しています。

ところで最近、双葉郡出身の友人と、ばったりと再会しました。おそらく、10年近く会っていなかったはずですが、その友人は、立派に手に職をつけて（「手に職をつける」なんて言葉は、最近あまり使われなくなっていますが）、働いていました。昔話に花が咲いたのですが、話の中でたびたび、実家はすでに取り壊したこと、だから帰る場所はなくなってしまったこと、両親は離れた土地に新居を構えたこと、自分が通っていた学校が取り壊されることになったこと、などが差し込まれてきます。文字に起こすと深刻な問題に読めるでしょうし、大変な出来事であることに間違いはないのですが、別に暗い雰囲気の中話していたわけでは決してなく、私と友人は学生時代と変わらず親しく話していたのです。

新型コロナウイルスが広がっていても、当たり前ですけれど、いつも通りに時間は過ぎていきます。いつもの日常の中の、ただ何気ない会話の中に、触れるか触れまいか少し戸惑ってしまうような話が、ときおり差し込まれるということが、私たちの暮らしなのかもしれない、と思います。ただそういった話も、私たちの心に余裕がなければ、話すことも、聞くことも、受け止めることもできないだろうと思います。別段、私の心にいつも余裕がある、というわけでもないのですけれど、せめて、「のんびり、お茶でも飲もうよ」というような気分があったほうが、ほんの少しは健全な社会になりそうだな、とったりするのです。

【告知】 「世界の『ミカタ』」 を開催します！

“世界の「ミカタ」”は今年度からスタートする国際理解プログラムです。「小学校外国語体験活動」(※豊中市提案公募型委託事業)の講師として活躍する外国人ボランティアの「学校で行う授業以外でも伝えたいことがある」「もっと地域の子どもたちとつながりたい」等といった想いがこのプログラムの開始につながりました。

講師の母国について、知識を深めるだけではありません。ゲームやワークショップを通して、「世界中には多様な考え方がある」「世界とつながることの楽しさ」等に改めて気付き、違いを肯定的に受け止めていってほしいと思います。

対象は小学3～6年生ですが、保護者の方にも一緒に参加いただき、ご家族で「世界の見方」が変わり、「世界の味方」になるきっかけとしていただけると嬉しいです。（協会職員・大庭みゆき）

【世界の「ミカタ」 開催概要】

日時:8月21日(土)10:30～12:00

場所:とよなか国際交流センター(豊中駅すぐ)

申込:8月17日までに電話・メールにて受付

対象:小学3年生～6年生の子どもとその保護者

(子どもだけの参加も可)

参加費:無料

定員:30人

TEL:06-6843-4343

メール:atoms@a.zaqq.jp



2021

8月の事業開催カレンダー

※コロナウイルス感染症対策のため、予告なく変更となる場合があります。
記載のない定例事業については、とよなか国際交流協会にお問い合わせください。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
26	27	28	29	30	31	01 貸室利用抽選会 ※1 一般利用：～10月末まで がちゃ 南部
02 もつと 相談	03 相談	04 休館日	05 相談 オンライン	06 相談	07 相談	08 山の日 がちゃ 母語 サンプル 若者 南部
09 振替休日	10	11 休館日	12 相談	13 相談	14 相談	15 とよなかシネコン アダムスファミリー 14:00～15:30
16 もつと 相談	17 相談 サンプレインテンシヴ 10:00～12:00	18 休館日	19 相談 サンプレインテンシヴ 10:00～12:00 オンライン	20 相談	21 相談 世界の「ミカタ」 10:30～12:00	22 がちゃ 母語 サンプル 若者 サンプレインテンシヴ 13:00～15:00 南部
23 もつと 相談	24 相談	25 休館日	26 千里 相談 オンライン	27 金あさ にこにこ 相談 こんぱす	28 相談	29 がちゃ サンプル 若者 南部
30 もつと 相談	31 相談 こんぱす	※赤字表記の活動については、活動内容を変更している場合があります。詳しい情報については、 とよなか国際交流協会へお問い合わせください。 ※1 2021年11月～2022年11月末は大規模空調設備工事のため貸室がご利用いただけません。 それに伴い、8月より目的利用での貸室抽選会を停止いたします。(一般利用は9月より停止)				

センターが主催する定例事業

月曜日	もつともつとつかえるにほんご ※ひらがな・かたかなが書ける人が対象 外国人のための多言語相談	10:00～12:00 11:00～16:00
火曜日	おやこでにほんご(千里・岡町・庄内の各図書館で実施) 外国人のための多言語相談 学習日本語こんぱす	10:00～12:00 11:00～16:00 17:00～19:00
木曜日	とよなかにほんご・木ひる 多文化こども保育にこにこ 千里にほんご(千里文化センターコラボで実施) 外国人のための多言語相談 オンラインにほんご	13:30～15:20 13:30～15:30 10:00～11:30 11:00～16:00 19:00～20:00
金曜日	とよなかにほんご・金あさ 多文化こども保育にこにこ 外国人のための多言語相談 学習日本語こんぱす	10:30～12:00 10:30～12:00 11:00～16:00 17:00～19:00
土曜日	韓国・朝鮮のこぼとあそびのついで ※毎月第3土曜日のみ 外国人のための多言語相談	9:30～11:30 13:00～16:00
日曜日	にちょうがちゃがちゃだん こども母語※第2、4日曜日のみ 学習支援サンプレイス 若者のたまりば 南部にほんご(庄内公民館で実施)	10:00～12:00 10:00～12:00 13:00～15:00 17:00～20:00 13:00～15:00

今月のピックアップ

とよなか国際交流フェスタ
中止のお知らせ

例年9月に実行委員会形式で開催していた「とよなか国際交流フェスタ」は、新型コロナウイルス感染拡大の状況をふまえて、昨年引き続き今年度も開催を見送ることになりました。

とよなか国際交流センターおしらせ
「こくりゆうだより」第148号(2021年8月号)

発行元・問い合わせ：(公財)とよなか国際交流協会
住所：〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F
(阪急宝塚線豊中駅すぐ)
開館時間：9:00～21:30(貸室受付は17:30まで、水曜休館)
TEL: 06-6843-4343 FAX: 06-6843-4375
E-Mail: atom.s@azaq.jp WEB: http://www.a-atom.s.info/

多言語情報も配信しています!

SNSも随時更新中!

「とよなか国際交流センター」で検索!

